

授 業 科 目 名	政策形成論 ー社会や組織の問題解決のための羅恩理的思考法入門ー		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	江口 雅祥		
開 講	岸和田サテライト	区 分	大学院
時 間	11月 9日 (土)	13:00~17:00	
	11月16日 (土)	13:00~17:00	
	12月14日 (土)	13:00~17:00	
	12月21日 (土)	13:00~17:00	
	1月11日 (土)	13:00~17:00	
	1月18日 (土)	13:00~17:00	

#### 【講義内容】

わたしたちは、社会や組織そして人生の問題について、ともしれば現実を複雑に考えすぎてしまうことが、問題を解決から遠ざけているのではないのでしょうか。この授業では、TOC (Theory of Constraints: 制約理論) に則って、問題をできるだけシンプルに分析し、対立を解消し、目標の実現に導くためのアプローチ法を学びます。これにより、社会や組織のマネジメントにおける、明晰な思考や有効性の高いコミュニケーションを行う基礎を築くことを目指します。

- 11/ 9 オリエンテーション、ロジック・ブランチ (因果関係の図式化) 演習
- 11/ 16 ロジック・ブランチ (因果関係の図式化) 演習 (続)
- 12/ 14 クラウド (対立構造の解消の図式化) 演習
- 12/21 アンビシャス・ターゲット・ツリー (目標達成への道筋の図式化) 演習
- 1/11 参加者によるレポート発表
- 1/18 参加者によるレポート発表 (続)、まとめ

以上を予定していますが、開講時に詳細をお示しします。

#### 【テキスト・教材】

教科書は、指定しません。教材は、講師から配付します。

#### 【参考書】

- エリヤフ・ゴールドラット 『ザ・チョイスー複雑さに惑わされるな』 ダイアモンド社、2008年
- 岸良裕司 『全体最適の問題解決入門』 ダイアモンド社、2008年
- H・ウィリアム・デトマー 『ゴールドラット博士の論理思考プロセス』 同友館、2006年
- エリヤフ・ゴールドラット 『ザ・ゴール2 思考プロセス』 ダイアモンド社、2002年

#### 【到達目標】

TOCfE (教育のための TOC 理論) の3つのツールである、ロジック・ブランチ (因果関係の図式化)、クラウド (対立構造の解消の図式化)、アンビシャス・ターゲット・ツリー (目標達成への道筋の図式化) を使って、社会や組織、人生の問題等について、自分がリーダーシップを発揮して、チームのメンバーとコミュニケーションをとったり、解決に向けて活用できるようになったりすること。

#### 【成績評価】

出席状況と、授業中の取り組み度 (個人・グループのワーク等)、講義間の個人レポート課題 (計2回予定) とそのプレゼンテーションとを総合して、成績評価を行います。

なお、クラスでは、講義形式というよりも、講師の解説を踏まえて、参加者 (受講生) が練習問題や個人・グループワークに取り組み、参加者間で共有・ふりかえりを行う、ワークショップ型・実習型のスタイルで進めますので、積極的な参加 (頭を回す、手を動かす、協働する、発言・質問する) が必須。

#### 【事前学習】

開講前の事前学習は、特に求めません。自分が解決したい「問題」を複数、意識しておくこと。